



がん検診は、どこで受けられるの？

町が実施している特定健診のときに、がん検診も受けることができます。
がんは、症状が出てきたとき、かなり進行していることがあるので、がん検診を受けて早く発見し、しっかり治しましょう。

～町で受けられる主ながん検診～

胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん



吉川保健師

ぜひ、あなたの大切な人にも、がん検診をすすめてください。
「見つかった」と「早く見つかった」は大きく違うんですよ。

がん検診では、がんの有無だけでなく、がんになる前の状態がわかる場合があります。
症状が出る前のがんを発見し、治療することが重要です。



上野保健師

健康診断を受診しましょう

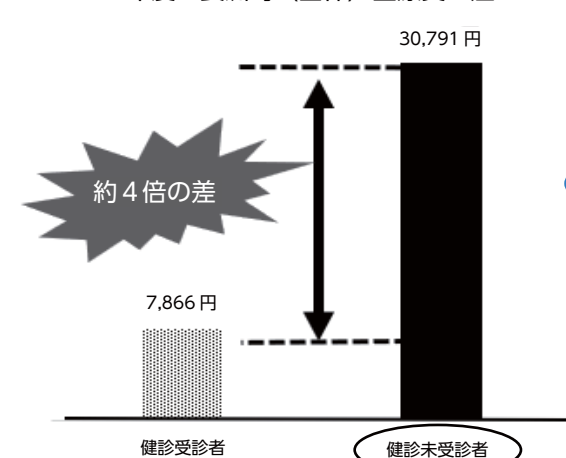
令和2年度の集団健診のご案内と世帯全員の申込書を3月上旬に送付しますので、3月下旬までに返信をお願いします。

■健診日時 1回目 6月3日(水)～12日(金)
2回目 12月19日(土)

■健診場所 町中央公民館

※6月の健診に申し込んだ人には、5月下旬に受診票を郵送します。申し込みが済んでいる人も項目の変更などは可能ですので気軽にお問い合わせください。

H30年度 長洲町(国保)医療費の差



出典：KDB「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

生活習慣病に係る医療費の差額
22,925 円／年
健診を受けて家計もおトクに！

定期的な健診を受けている人ほど、年間医療費が少ないことがわかりました！

特定健診に関すること 国保医療係 (☎ 78-3139)
がん検診に関すること 保健予防係 (☎ 78-7171)

早期発見で「がん」に打ち勝つ！

～あなたを必要とする人のためにがん検診を受けましょう～



知っていますか？ がんの現状！

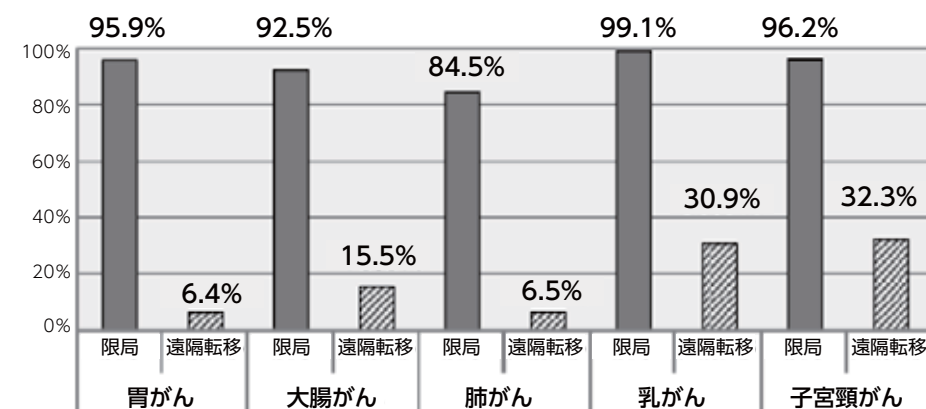
日本人の死亡原因の第1位は「がん」です。
また、日本人の約2人に1人は「がん」にかかり、約3人に1人は「がん」で亡くなっています。
ただし、医療技術の発展などで治る確率も高くなっていて、がんを克服するには「**早期発見・早期治療**」が最大のポイントです。
自分のために、あなたを必要とする人のために、がん検診を受けましょう。



発見が早ければ早いほど、**生存率が高い**のです！

がん予防で最も効果的なのが早期発見。早ければ早い方が、治る確率も高く、生存率も高くなります。

5年相対生存率：進行度別(2010年症例)



出典：熊本県のがん登録
平成27年(2015年)
【5年相対生存率】
あるがんと診断された場合に、治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標。100%に近いほど治療で生命を救えるがんであることを意味します。
【限局】
がん細胞が最初に発生した臓器にとどまっている状態のこと。
【遠隔転移】
がん細胞が最初に発生した場所から、血管やリンパ液の流れに乗って、別の臓器などに移動し、そこで増えること。



検診を受けない理由…本当に大丈夫ですか？

がんは自覚症状がないときに検診を受けて、早期発見・早期治療を行えば、治ることが多いのです。
しかし、こんな理由でがん検診を受けていない人はいませんか？

定期的に通院しているし、検査も受けているから大丈夫

他の治療のための検査ではわからないことがあります。

新しい病気が潜んでいる可能性もあるので、年に1回の受診をおすすめします！

体の調子は悪くないし、2、3年に1回受ければ大丈夫

検査の結果で正常値の範囲でも、毎年の変化で比較すると、段々と異常値に近づいているかもしれません。

体の変化に早めに気づくためにも、年に1回の受診をおすすめします！